

2027年度 中学入試 Q&A

※必ず募集要項の記載事項を確認してください。

出願に関して

Q.1 Web 出願の際にシステムが正しく作動しません。どこへ連絡すればよろしいでしょうか。

A Web 出願システムの「お問い合わせ」の「システム・操作について」をご参照ください。

Q.2 試験会場が希望通りにならない場合がありますか。

A これまでは全志願者が希望通りの会場で受験をしております。ただし、例年より多くの出願があり、会場の定員を超えた場合は、志願者へ電話連絡で確認し、他の会場への変更をお願いすることがあります。

Q.3 志願者数・受験者数はいつ知ることができますか。

A 一般入試(1月)については、志願者数が確定した段階で、本校ウェブサイトにて公表します。受験者数は合格者数と合わせて、後日本校ウェブサイトにて発表します。

Q.4 出願後に区分(専願／併願、一般枠／地域枠)を変更することはできますか。また、試験会場を変更することはできますか。

A 出願後は変更することができません。

Q.5 保護者の転勤のため、入試日段階での住所や電話番号が確定しません。現在の住所を記入すればよいでしょうか。

A 出願段階では、連絡のつきやすい住所をご記入ください。入学の段階で改めて住所を確認させていただきます。

Q.6 受験当日までに緊急事態が発生した場合、学校と連絡を取る方法がありますか。

A 本校(0955-58-9000)までお問い合わせください。平日は9:00～17:00、試験当日は7:30以降に問い合わせが可能です。

Q.7 専願入試は併願入試と比べて、受験生にとって有利となりますか。

A 専願入試出願者は本校が第1志望であると考えられるため、合格最低点に関して優遇されます。どのくらい有利になるのかは、出願状況と得点状況により判断します。

Q.8 首都圏に住んでいますが、九州会場での受験は可能ですか。また、その逆は可能ですか。

A 居住地による受験会場の指定は行っていないので、受験可能です。ただし、地域枠を希望する方の受験地は九州会場のみです。

Q.9 入試区分によって、合格最低点に差はありますか。

A 入試区分(九州入試／首都圏入試、専願／併願、一般枠／地域枠)によって合否判定を行いますので、合格最低点に差が出る可能性があります。

Q.10 九州入試と首都圏入試でなぜ定員が約80人・約40人と、首都圏入試が少なくなっているのですか。

A 「九州のWASEDA」として設立した趣旨と寮の定員を踏まえた結果です。

Q.11 小学校発行の調査書は必要ですか。

A 新思考入試(12月)を受験される方は調査書が必要です。本校所定の形式でご提出ください。

Q.12 専願で合格した場合は、必ず入学しなければならないでしょうか。

A 専願では、合格した場合は必ず入学することが前提です。

Q.13 専願入試を出願する場合、他校を受験することはできなくなりますか。

A 専願入試は他校の受験を妨げるものではありません。他校を受験することもできます。

Q.14 入試区分（九州入試／首都圏入試、専願／併願、一般枠／地域枠）で入試問題は異なりますか。

A 同一日程の入試は、全て同じ問題です。新思考入試(12月・帰国生)・一般入試(1月)に関しては本校ウェブサイトでご覧いただけます。一般入試(2月)の問題は公表しておりませんが、一般入試(1月)に準じた内容で作成しています。

Q.15 一般入試(1月)で不合格の場合、一般入試(2月)を受験することは可能でしょうか。

A 可能です。一般入試(2月)では改めて出願をする必要があります。

Q.16 複数回出願することによる優遇はありますか。

A 特にありません。

Q.17 私立小学校からの受験では、何かハンディはありますか。

A 出身小学校が合否に関係することはありません。

Q.18 普段はメガネをかけていませんが、試験時にはメガネをかける予定です。願書の写真はどうすればよいでしょうか。

A 試験を受けるときの状況と同じ顔写真をご用意ください。ただし、試験途中でメガネをはずしたとしても、注意されることはありません。

地域枠に関して

Q.19 なぜ「地域枠」の区分を設けたのでしょうか。

A 早稲田大学の系属校を九州に設立した趣旨と寮生数のキャパシティを考慮して、新たな入試区分を設けました。地域枠では唐津やその周辺地域から通学し、地域活動や地域の文化事業に対して積極的に参加する気概をもつ生徒を募集します。

Q.20 「地域枠」に出願できる定義を教えてください。

A この入試による入学者は、在学期間中は自宅から通学するものとします。在学期間中の入寮はできません。全国各地から唐津やその周辺地域へ移住して生活する生徒も対象とします。

Q.21 「地域枠」は全ての入試に設定されますか。

A 九州で行われる全ての入試において、「一般枠」「地域枠」を設定します。首都圏で実施される入試は「一般枠」のみの設定です。

Q.22 「一般枠」「地域枠」は合格判定にどのように影響しますか。

A それぞれの志願者数に応じて「一般枠」「地域枠」それぞれの合格基準を定めます。

Q.23 「一般枠」「地域枠」のうち、選択した枠とは異なる枠での合格判定も希望できますか。

A はい。出願時に選択した枠で合格とならなかった場合でも、もう一方の枠での合格判定を希望することができます。ただし、地域枠で合格した場合は、在学期間中は自宅から通学することとなり、入寮することはできません。

Q.24 「一般枠」もしくは「地域枠」で合格し、入学手続完了後にその後の入試でを受験することは可能ですか。

A 第二次手続まで完了し入学の権利を保持している場合は、その後の本校の入試を受験することはできません。

入試当日に関して

Q.25 試験当日、体調が悪い場合は保健室等での受験は可能ですか。

A 各会場に別室受験場が設けられていますので、体調が悪い場合には速やかにお申し出ください。
ただし、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の国で定められた感染症に罹患した場合は、他の受験生への感染を防ぐため、受験はご遠慮ください。

Q.26 受験当日遅刻をしてしまった場合、試験は受けられますか。

A 各試験開始後、20分までの遅刻者は試験を受けることができますが、終了時刻は全体と同じ時間になります。
20分以上の遅刻者は、その教科を受験することはできません。

Q.27 別室受験で不利となることはありますか。

A ありません。

Q.28 休み時間に水分などを口に含むことはできますか。また、ノートや参考書を試験会場内に持ち込むことは可能ですか。

A 水分や栄養補給を目的とする補助食（飴やチョコレートなど、試験中に口内に残らないもの）などは休み時間に摂るようにしてください。昼食は昼休み時間のみ可能です。また、試験会場内で休み時間に参考書などで学習することは可能です。

Q.29 試験問題を持ち帰ることは可能ですか。

A 新思考入試(12月・帰国生)・一般入試(1月)は、試験問題を試験終了後に持ち帰ることができます。一般入試(2月)は問題を回収します。

Q.30 試験当日の昼休みに昼食等を届けることは可能ですか。

A 保護者が昼食を届けることはできません。受験生は昼食を持って試験会場へ入ってください。また、忘れ物をした場合は、近くの本校職員までお問い合わせください。

Q.31 試験時間内にお手洗いにいきたくなくなった時の対応を教えてください。

A 係が付き添ってお手洗いまで誘導します。その後、会場に戻り、受験を続けることができます。

Q.32 試験や面接のときの服装はどのようなものがよいでしょうか。

A 普段着で結構です。会場内はエアコンを使用しますが、重ね着などで体温調整できる服装を心がけてください。

Q.33 筆記用具を忘れてしまった場合等、問題が発生した場合はどのようにしたらよいでしょうか。

A 受験生は試験監督へ、保護者の方は本校職員へお問い合わせください。

Q.34 会場に時計はありますか。

A 会場に時計はありません。時計を貸し出したり時刻を教えたりすることはできませんので、必要な場合は必ず持参してください。なお、計算機付き時計・腕時計型ウェアラブル端末や携帯電話の時計機能を使用することはできません。

Q.35 試験会場に保護者が待機する場所がありますか。

A 保護者が待機する場所はありません。

入試内容に関して

Q.36 一般入試(1月)と一般入試(2月)を比較して、問題に難易度の差はありますか。

A 難易度の差が無いように問題を作成しています。

Q.37 合格するにはどのくらいの点数が必要ですか。

A 年度により平均点が異なり、区分によっても合格最低点が異なるため一概には言えませんが、各教科の合計点で60～65%くらいの正答率を目指してほしいと考えています。

Q.38 足切り点は設定されますか。

A 各教科で足切りはありません。総合点で判断します。

Q.39 面接の質問内容はどのようなものでしょうか。合否への影響は大きいでしょうか。

A 3～6人の集団面接で、一般的な内容について質問します。試験と面接を総合的に判断して合否を決定します。

Q.40 新思考入試において、調査書、面接はどの程度重視されますか。

A 新思考入試は当日の入試得点に加え、調査書内容、面接を総合的に判断し合否を決定します。

合格発表・入学手続きに関して

Q.41 合格発表の区分はどのようになっていますか。

A 合格・補欠・不合格で発表を行います。

Q.42 補欠の繰り上げはどのタイミングでどのように行われますか。

A 補欠の繰り上げ合格は、手続き状況に応じて電話連絡などで連絡させていただきます。

帰国生入試に関して

Q.43 新思考入試(帰国生)の総合Ⅰ・総合Ⅱの問題は新思考入試(12月)と同じ問題ですか。また英語の難易度はどれくらいですか。

A 同じ問題です。英語の難易度は英検準2級レベルで作成しています。

Q.44 面接は英語で行われますか。また、面接の内容はどのようなものでしょうか。合否に大きな影響がありますか。

A 面接は、個人または集団面接で約10～15分間で行います。日本語での面接となります。外国での生活の様子や異文化体験等について幅広く尋ねています。異文化での体験を本校での学校生活にも活かして欲しいと考えており、その意味では面接も重視しています。

Q.45 帰国生入試(帰国生)で合格した場合、英語に関して特別な授業を受けることはできますか。

A 基本的には他の生徒と同じ授業を受けます。ただし英語は、希望者で一定の条件を満たした生徒に対して、ネイティブスピーカーの教員による授業を週1・2回行っています。

入寮に関して

Q.46 入学時に入寮の制限地域は設定されていますか。

A 「一般枠」と「地域枠」区分の導入により、昨年度までと異なり、入学時の入寮制限地域はなくなりました。入寮の可能性がある場合は一般枠で出願してください。

Q.47 合格後に保護者の転勤が決まった場合、寮に入ることができますか。

A 「地域枠」で入学した場合は、在学中に入寮することはできません。入学後に少しでも寮に入る可能性がある場合は「一般枠」で出願してください。「一般枠」での合格の場合は、寮に空きがあれば在学途中でも入寮することができます。